



見えない力が見える方々②

またまた素敵なメッセージが届きました。

こちらの紙面での返信をもって、お礼に替えさせていただきます。

渡辺先生

4年生の先生方

2日続けて見学させていただき、ありがとうございました。

水と街プロジェクト、想像していたよりも壮大なものでした。

先生が大きな視点で教科を横断して学習をデザインされていることが分かり、

そしてプロジェクト学習がただ知識を学ぶだけでなく自分事としての動機を育てるものであることに、改めて学びの尊さを感じております。

プロジェクトから得た知見が種となって探究学習へ発展させる子が出てきても面白いですね。

『宿泊体験でイルカに乗れる！やったー！』と息子を喜ばせていた日間賀島にも今後繋がっていくとは…！更に楽しみです。

1日目は思いがけず朝から帰りまで4年生を見学することになりました。

というのも当初は2限から参観を申し込んでいたのですが、

朝に渡辺先生から「1限に良いネタが入ったのでぜひ！」とお電話いただき、都合をつけて間に合うように学校へ足を運んだのでした。

そのことがまた先生がいかに真剣に一回一回の授業の機会を考えておられるかが伝わってきて胸熱でしたし、ならば私も！と思いました。

巻き込んでくださり、本当にありがとうございました。

愛知用水のプロジェクト X、ある子から「どうしたらいいんだあ〜」との素直な声が上がったことが印象的でした。

息子も泣きそうになった（計画が頓挫しかけたシーン）と夕食時に言っていました。

また 1 日を通して子ども達の様子を見れたことで、彼らの 1 日のリズムも近くで感じられました。

集中して授業に参加した後は少し疲れてしまうこともまた、とても自然なことに思えました。

子ども達の様子で一つ気が付いたことがあります。

挙手制で先生が当てるのではなく自由に発言できる場面で、

話し始めた子が居たら誰もが遮らず、次に発言したい子も前の子が話し終わるのを待っていたことです。

私が前回授業を見学させていただいた 4 月は、話したい思いがぶつかり合って互いに遠慮しないシーンが何度かありました。

たけのこ読みの効果でしょうか。日常の何気ないシーンだと思いますが、周囲へアンテナを張れるようになっていることを感じました。

なかなか授業参観に来られませんが、次に見学させていただける機会を楽しみにしております。

学級通信で普段の様子を伝えてくださることに感謝いたします。

プロジェクト学習の前日には、社会科の学習において「愛知用水」の授業を扱いました。

翌日のプロジェクトに向かうにあたり、知多半島だけでなく瀬戸市や春日井市にも共用している愛知用水の存在を伝えることは非常に意味があるものだと判断したからです。

授業とは、布石の連続です。

前回のものが今回に繋がり、今回のものが次回へと繋がっていく。

その、「たった1回の授業を見ただけでは分からない連続性」を感じ取って下さったことが、とても嬉しかったです。

2日連続で授業を見てもらったからこそ分かる世界ですね。

教師の世界にあっても、その「連続性の意味」や「布石の価値」を理解したり共有したりするのはとても難しかったりします。

理由は簡単で、「見えない世界」だからです。

前の授業が次の授業にどう繋がっていくかは、想像しないとできません。

そして、今の授業が前とどう繋がっているかも、想像しないとできません。

でも、感じ取ろうとすれば、必ずその見えない世界が見えてきます。

メッセージの中にあつた、「発言する際の譲り合い」もそうですね。

4月の初めは、本当に発言したい子たちの交通事故が教室のあちこちで起きていました。

今となっては懐かしい思い出です。

そして、追い読み、交代読み、タケノコ読み、指名なし音読、完璧読みなどいくつかのバリエーションの音読を経験してくる中で、子どもたちは徐々に「番手を意識する」「相手に発言権を譲る」ことを学んでいきました。

その過去のストーリーは目には見えません。

けれど、前の姿と今の姿を知っている人ならば、その変化の要因を「想像」することができます。

教育に携わる者にとって、この想像する力は極めて重要な力です。

丁度、料理人にとって「味をイメージする力」が重要なように、「どうすればこの味が生まれるのか」「きつとこうすればこの味に至るだろう」と想像する力がより良い教育の姿を生み出す上では欠かせないからです。

もう少し言うと、「うまくいかない時の原因」を想像することも大切です。

何度やっても改善が見られなかったり、何度言っても伝わらなかったりする時は、そこには必ずしかるべき原因があります。

子どもたちの思考の回転が止まったり、熱中や集中状態が慢性的に生まれていないならば、そこにも必ず然るべき原因があるということです。

それを想像し、あの手この手その手を尽くしていくことが教育に携わる者にとって大切なのだと思います。



素敵なメッセージをいただいたので、思わず筆が熱く走ってしまいました。当日お越しになったパナソニック教育財団の方も、大学教授の方も、他の学校の先生方や大学生たちも、異口同音に子どもたちの学びの姿に感動して帰っていかれました。

そして、どの方も「見えない世界」の大切さをしっかりと想像して感じ取ってくださったことが本当にありがたかったです。

ここに至るまでの 2 カ月の変化や成長、そして継続的に子どもたちのことを見守って支えていただき、本当にありがとうございます。

また、ぜひ見てもらいたい授業がある時は、積極的にアナウンスさせてもらおうと思います。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcipcWai mWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

